

経営比較分析表（令和3年度決算）

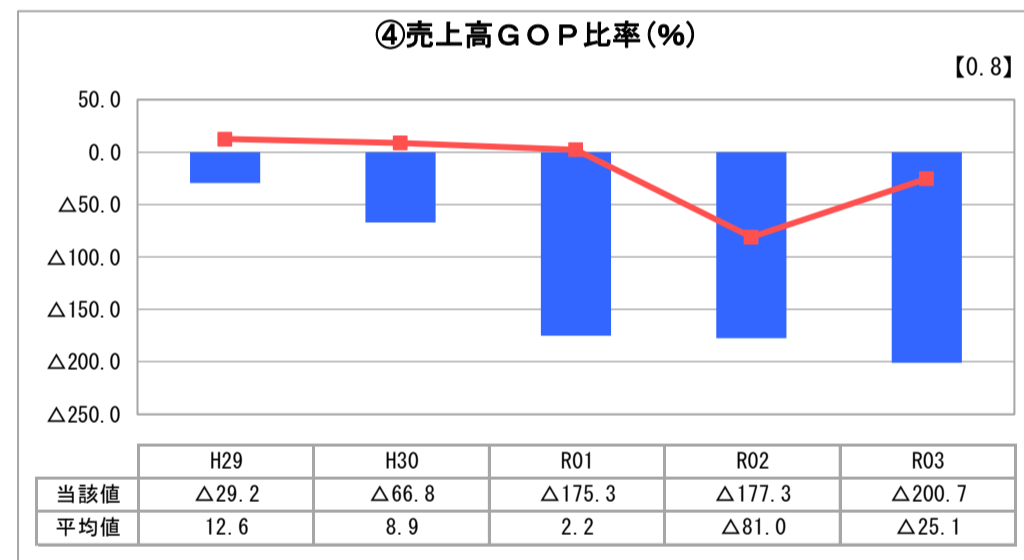
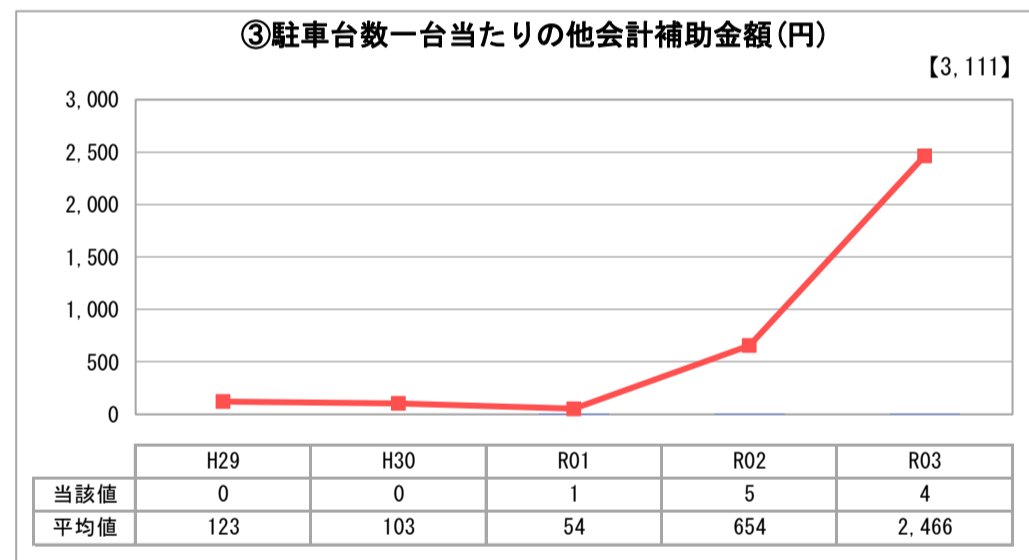
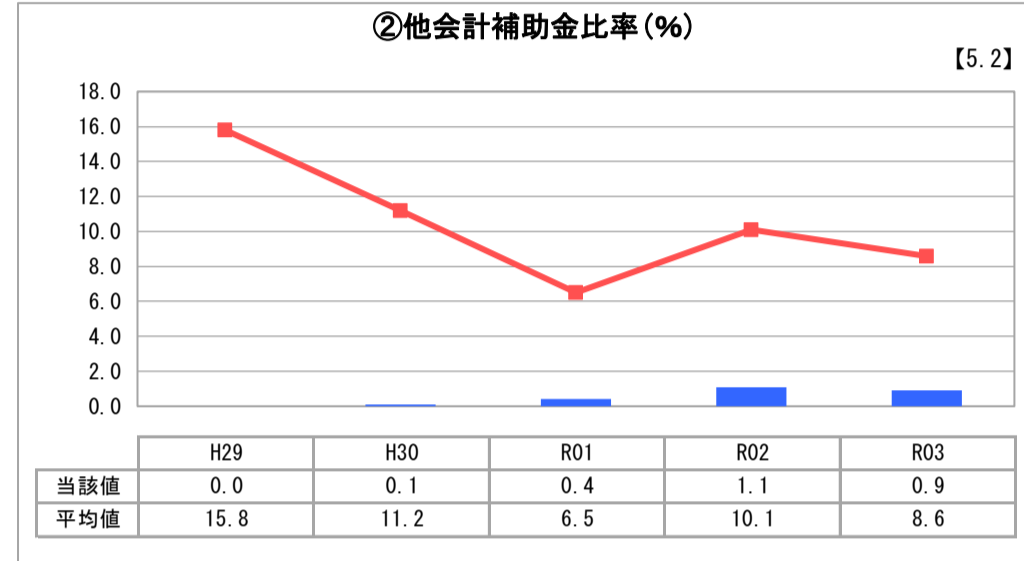
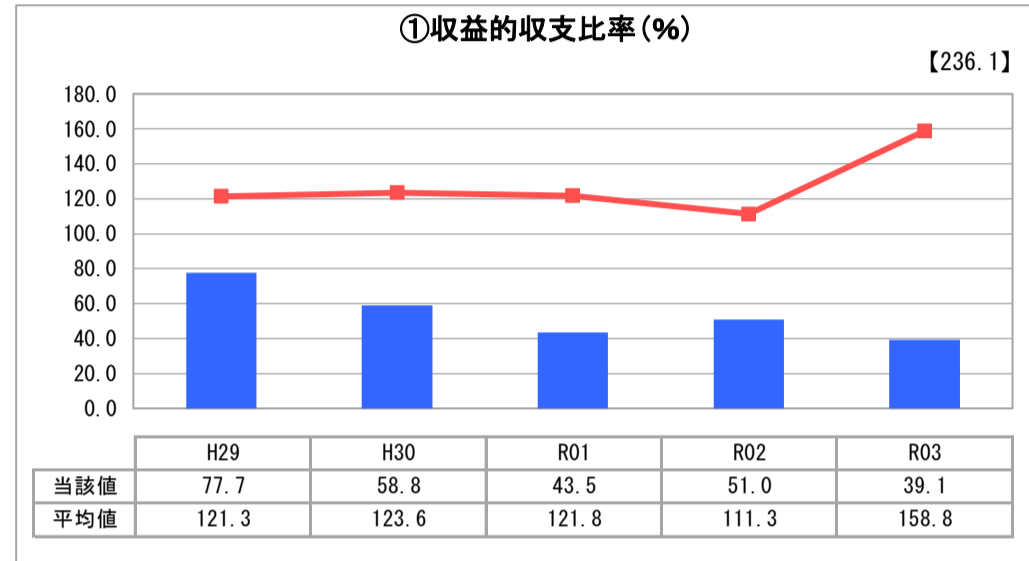
鳥取県米子市 米子駅前地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	地下式	26	

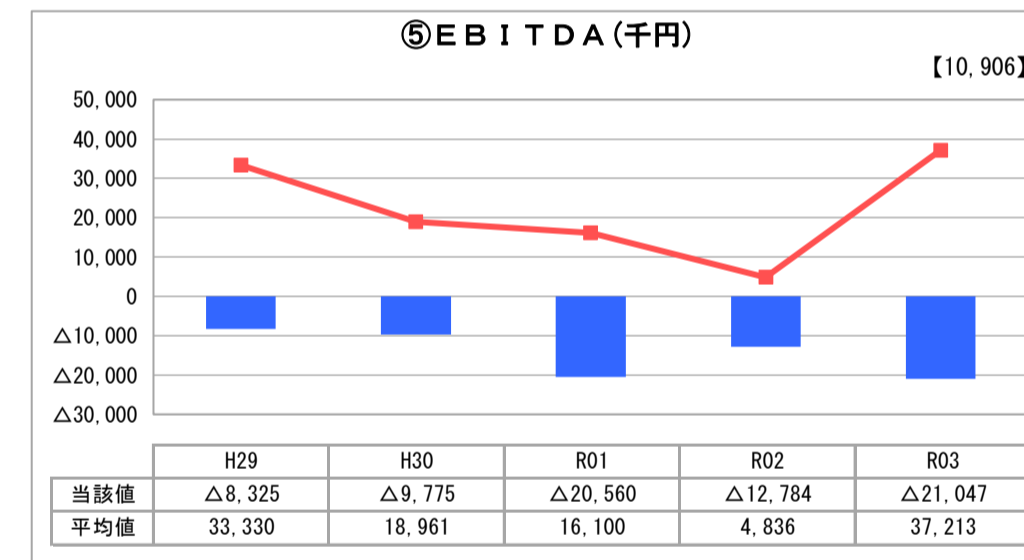
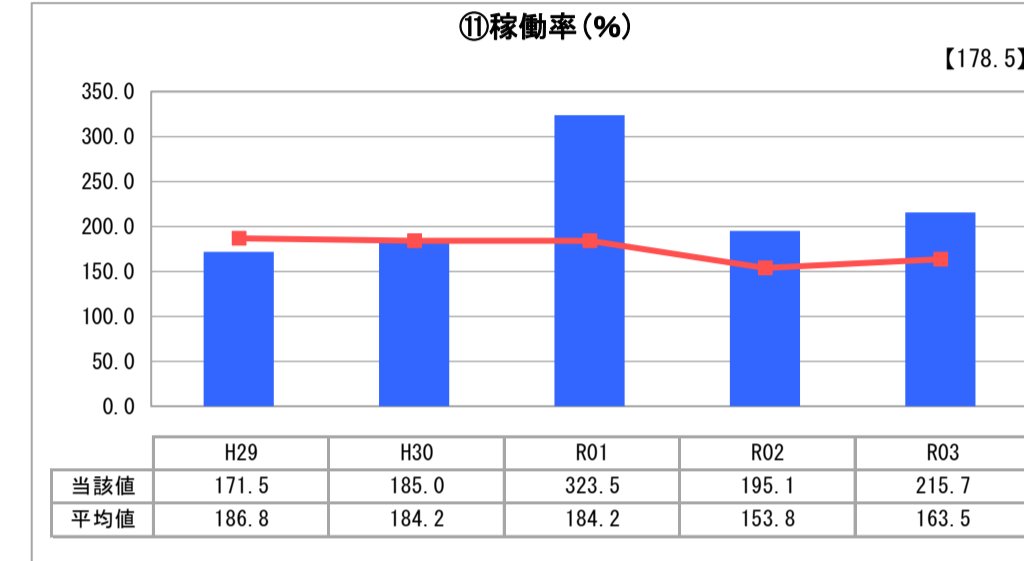
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	6,133
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
102	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

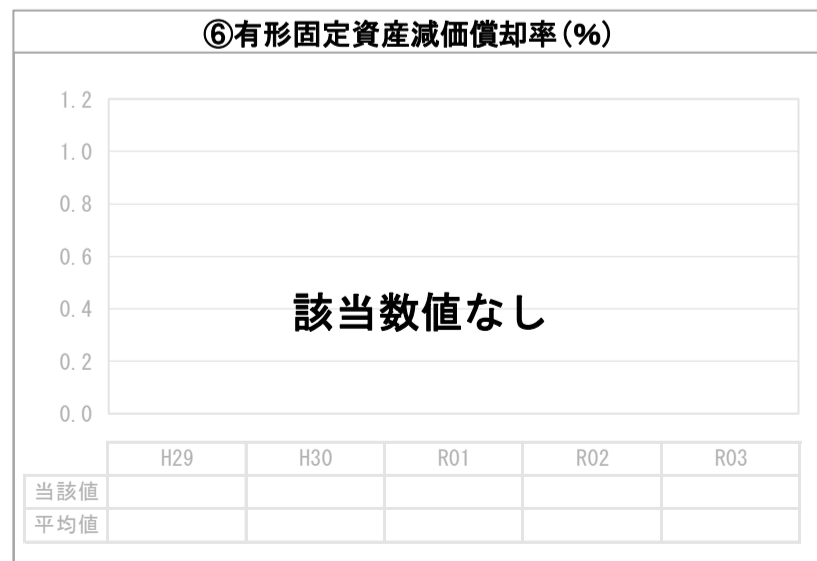
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

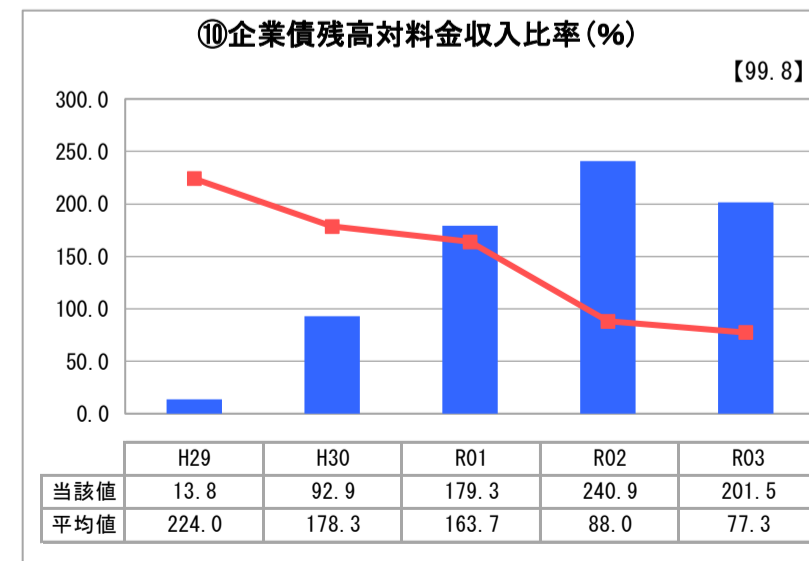


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

25,702



分析欄

1. 収益等の状況について
令和元年度に大規模改修工事が完了し、令和2年度以降は収益の改善を見込んでいたが、令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少したことにより、各指標が前年並みあるいは悪化した。

当駐車場の傾向として、地下式であるため維持管理経費が大きく、料金収入で賄えず、慢性的に他の駐車場の収益に頼っている状況である。
また今後、大規模改修の起債の償還が本格的に開始するため、新型コロナウイルス感染症が終息したとしても、経営の見通しは楽観視できる状況ではないが、まずは単体で黒字経営とすることを目標に引き続き経営努力に努める必要がある。

2. 資産等の状況について

令和元年度に完了した大規模改修工事に係る起債に伴い、企業債残高対料金収入比率が前年度と同様高比率であった。

地下駐車場の躯体そのものは問題ないが、建設から25年が経過し、各種設備の老朽化が進んでおり、今後計画的に修繕・改修を行う必要がある。

近年中にエレベーターの大規模改修工事を見込んでいる。

3. 利用の状況について

当駐車場は、米子駅利用者の利用が大半であり、令和3年度は、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響によりJRの利用者が減少したが、令和3年9月から実施していた料金改定の影響もあり、稼働率は前年度より若干良化した。

類似施設と比較しても、高い稼働率であり、当該エリアの駐車場需要を満たすものではあるが、入場から30分間無料としているため、稼働率が必ずしも収益に結びついていない状況である。

全体総括

令和元年度に大規模改修工事が完了し、令和2年度以降は単年度黒字も見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、厳しい経営状況が続いている。

当駐車場は収益性が乏しく、地下式であり、また駅前の混雑緩和と利便性向上を目的とした都市計画上の道路附属物であるため、民間譲渡や転用には適さないと考えられる。駐車場需要は高いため、引き続き設置目的の達成のため公営駐車場として経営をする必要がある。

今後は、経営戦略を基に、指定管理者制度を活用しながら、経営の効率化や利用促進を図るとともに、一般会計からの繰入も検討をし、安定的な経営に努めていく必要がある。